



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2107 URL <https://www.toyosugar.co.jp>  
代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)大浦 理  
問合せ先責任者(役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)鈴木 陽 (TEL)03(3668)7871  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,592	15.9	501	135.8	1,284	449.8	1,008	494.6
2023年3月期第2四半期	7,415	11.3	212	△35.1	233	△37.8	169	△35.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,065百万円(574.7%) 2023年3月期第2四半期 157百万円(△38.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	185.01	—
2023年3月期第2四半期	31.12	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,115	10,876	82.9
2023年3月期	11,851	10,001	84.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,876百万円 2023年3月期 10,001百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年3月期	—	57.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	42.50	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円50銭、記念配当15円00銭、特別配当25円00銭  
2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当17円50銭、特別配当25円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	12.4	640	40.6	1,460	164.6	1,130	146.1	207.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	5,456,000株	2023年3月期	5,456,000株
2024年3月期2Q	3,348株	2023年3月期	3,315株
2024年3月期2Q	5,452,675株	2023年3月期2Q	5,452,689株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 2024年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され社会経済活動の平常化が進み、また訪日外国人の増加により国内での消費活動が活発化するなど回復基調にあります。一方、長引くウクライナ情勢など不安定な国際情勢の中、ドル円相場は期初に132円台で始まり、9月最終週には149円台とドルが高騰・円安がさらに進み、原材料価格や電気料金・ガソリン代といったエネルギー価格の高騰など、引き続き先行き不透明な状況にあります。

当社グループにおきましても、砂糖の原材料である粗糖価格(ニューヨーク粗糖先物相場)が高騰しており、期初に1ポンドあたり22.35セントで始まり、9月19日には2011年以来・約12年振りとなる期中最高値27.62セントをつけました。

このような状況下におきましても、当社グループは、引き続き安全・安心な製品をお客様に安定的に供給する事に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

## 砂糖事業

ニューヨーク粗糖先物相場の期近限月は、3月中旬の世界の砂糖余剰量の引き下げ予測による供給不安からの上昇傾向を引き継ぎ、1ポンド当たり22.35セントで取引が始まりました。5月以降は、ブラジルでの砂糖生産が前年より好調であることから価格は軟調に推移しました。しかし7月以降は、インドが砂糖の輸出を禁止するとの報道、タイでの天候不良による生産量減少の懸念や、エルニーニョ現象による降水量減を背景に再び相場価格は高騰し、またブラジル通貨レアル高や原油価格の上昇の影響も受け、9月19日には2011年以来・約12年振りとなる期中最高値27.62セントをつけた後、26.27セントで当中間期を終了いたしました。

一方、日本経済新聞掲載の東京上白糖現物相場は、1キログラム当たり227円～229円で始まり、ニューヨーク粗糖先物相場の上昇に伴い7月に12円上昇し、239円～241円で当中間期を終了いたしました。

このような状況の中、販売量は前年同期並みで推移し、原材料費、輸送費など製造販売経費が上昇したものの、昨年来より実施している製品価格の改定が浸透してきたことから、売上高は7,670百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は600百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

## 機能素材事業

飲料やサプリメント向け製品の出荷が順調に推移したことに加え、機能性表示食品向けに酵素処理ヘスペリジンやルチン等の出荷が好調に推移したこと、また化粧品原料の出荷も順調に推移したことから販売量は前年同期を上回り、売上高は922百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益は186百万円(前年同期比51.6%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高8,592百万円(前年同期比15.9%増)、全社経費控除後の営業利益は501百万円(前年同期比135.8%増)、一過性の受取配当金753百万円を含む営業外損益は783百万円となり、経常利益は1,284百万円(前年同期比449.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,008百万円(前年同期比494.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産や原材料及び貯蔵品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,263百万円増加し13,115百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金や未払法人税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べ389百万円増加し2,239百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払などがあるものの親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ874百万円増加し10,876百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.4%から82.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日付「令和5年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、製品価格改定の浸透や高付加価値製品の出荷増が見込まれることから、前回発表予想に対し、売上高は1,000百万円増の17,000百万円、営業利益は140百万円増の640百万円、経常利益は130百万円増の1,460百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は100百万円増の1,130百万円に修正いたします。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	16,000	500	1,330	1,030	188.90
今回修正予想(B)	17,000	640	1,460	1,130	207.24
増減額(B-A)	1,000	140	130	100	
増減率(%)	6.3	28.0	9.8	9.7	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	15,131	455	551	459	84.21

(注) 上記業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,756	3,670
受取手形、売掛金及び契約資産	1,480	1,959
商品及び製品	1,027	1,103
仕掛品	171	184
原材料及び貯蔵品	951	1,625
短期貸付金	914	921
その他	109	124
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	8,396	9,568
固定資産		
有形固定資産	319	349
無形固定資産	15	12
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023	1,129
長期貸付金	1,842	1,840
退職給付に係る資産	122	119
その他	137	101
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,119	3,184
固定資産合計	3,455	3,546
資産合計	11,851	13,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	895	1,177
未払法人税等	33	142
賞与引当金	73	67
その他	422	443
流動負債合計	1,424	1,831
固定負債		
役員退職慰労引当金	43	29
退職給付に係る負債	333	330
資産除去債務	1	1
その他	47	45
固定負債合計	425	407
負債合計	1,850	2,239
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	6,966	7,784
自己株式	△4	△4
株主資本合計	9,865	10,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97	158
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整累計額	37	34
その他の包括利益累計額合計	135	192
純資産合計	10,001	10,876
負債純資産合計	11,851	13,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,415	8,592
売上原価	6,393	7,289
売上総利益	1,021	1,303
販売費及び一般管理費		
販売費	272	267
一般管理費	536	534
販売費及び一般管理費合計	808	801
営業利益	212	501
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	12	761
持分法による投資利益	17	17
その他	2	9
営業外収益合計	45	804
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	23	20
その他	0	0
営業外費用合計	24	21
経常利益	233	1,284
税金等調整前四半期純利益	233	1,284
法人税、住民税及び事業税	65	282
法人税等調整額	△1	△7
法人税等合計	63	275
四半期純利益	169	1,008
親会社株主に帰属する四半期純利益	169	1,008



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	169	1,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	60
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	△4	△3
その他の包括利益合計	△11	56
四半期包括利益	157	1,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157	1,065

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	233	1,284
減価償却費	34	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△6
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△5	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20	△13
受取利息及び受取配当金	△25	△777
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△17	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△147	△478
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△110	△762
仕入債務の増減額 (△は減少)	△187	282
未払金の増減額 (△は減少)	13	12
その他	△26	△8
小計	△251	△451
利息及び配当金の受取額	25	777
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△118	△185
営業活動によるキャッシュ・フロー	△344	140
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△34	△52
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	4	-
貸付けによる支出	△470	△460
貸付金の回収による収入	436	455
保険積立金の解約による収入	-	24
その他	△8	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73	△34
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△189	△189
リース債務の返済による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192	△192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△610	△86
現金及び現金同等物の期首残高	3,827	3,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,216	3,670

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,616	798	7,415	—	7,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	6,616	798	7,415	△0	7,415
セグメント利益	396	122	518	△306	212

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,670	922	8,592	—	8,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	△0	—
計	7,670	922	8,592	△0	8,592
セグメント利益	600	186	786	△285	501

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。